

■ 開会の挨拶 10:00～10:10

荒井 保明 (リザーバー研究会 代表世話人 / 国立がん研究センター中央病院 院長)
塩田 邦彦 (香川県立中央病院 院長)

■ 一般演題 「肝動注リザーバー①」 10:10～10:50

座長 末吉 智 (ゲートタワー IGT クリニック)

- 01 食道静脈瘤破裂により自然寛解したと思われるリザーバートラブル後の進行 HCC の 1 例
生口 俊浩 (岡山大学 放射線科)
- 02 急速に増大した CK19 陽性肝細胞癌に対し low dose FP 療法が奏功した 1 例
狩山 和也 (岡山市立市民病院 肝疾患センター)
- 03 進行肝細胞癌に対するソラフェニブ併用リザーバー肝動注中に生じた肝動脈血栓症の 1 例
西尾福英之 (奈良県立医大 放射線科)
- 04 10 年間の肝動注カテーテル留置により、リザーバーカテーテルの断裂をきたした Stage IV-B 肝細胞癌の 1 例
豊田 秀徳 (大垣市民病院 消化器内科)
- 05 動注カテーテル遺残により兎径部局所の感染、限局性の大動脈解離、脳梗塞等を生じた一例
谷口 博順 (日本赤十字社医療センター 消化器内科)

■ 一般演題 「肝動注リザーバー②」 10:55～11:35

座長 生口 俊浩 (岡山大学 放射線科)

- 06 上腸間膜動脈経由の肝動注リザーバーカテーテル留置
井上 大作 (愛知県がんセンター中央病院 放射線診断・IVR 部)
- 07 直達法による下腹壁動脈経由動注リザーバー留置
新槇 剛 (静岡県立静岡がんセンター 画像診断科)
- 08 肝持続動注化学療法が奏効した胆管浸潤を伴う肝細胞癌の 4 例
山下 勉 (大分医療センター 消化器内科)
- 09 進行肝細胞癌に対する 5FU/ CDDP 短期肝動注化学療法の有効性と合理性
矢田 豊 (群馬県済生会前橋病院 消化器内科)
- 10 肝細胞癌に対する肝切除前 neoadjuvant chemotherapy の検討
筒井 りな (公立八女総合病院 内科)

■ 共催ランチョンセミナー I 「ミリプラはこうして使う！理論、技術、結果」 12:00～13:00

《共催：大日本住友製薬株式会社》

座長：高安 幸生 (たかやすクリニック)

演者：永松 洋明 (公立八女総合病院 肝臓内科)

「進行肝細胞癌に対する New FP 療法の次の一手
～ミリプラチンを用いた肝動注療法～」

演者：長谷部光泉 (東海大学医学部 専門診療学系 画像診断学領域)

(東海大学医学部附属八王子病院 放射線科)

「ミリプラチンを用いたバルーン閉塞下肝動脈化学療法の初期経験」

■ 特別講演『肝癌治療の最前線』 13:05～14:05

《共催：バイエル薬品株式会社》

座長 荒井 保明 (国立がん研究センター中央病院 院長)

演者 工藤 正俊 (近畿大学医学部 消化器内科 主任教授)

■ シンポジウム I 「肝細胞癌に対する肝動注療法の生き残る道」 14:10～15:40

《共催：日本化薬株式会社》

座長 熊田 卓 (大垣市民病院 副院長 消化器内科)

稲葉 吉隆 (愛知県がんセンター中央病院 放射線診断・IVR 部)

S1-1 肝動注化学療法の生き残る道 本邦の解析より

小尾 俊太郎 (佐々木研究所附属杏雲堂病院 消化器・肝臓内科)

S1-2 肝がん化学療法からみた肝動注リザーバーの生き残る道 ～SILIUS Phase III trial の重要性～

上嶋 一臣 (近畿大学医学部 消化器内科学)

S1-3 進行肝細胞癌に対するシステム-Iを用いた経動脈性治療

板野 哲 (いたのクリニック)

S1-4 進行肝細胞癌に対する肝動注リザーバーの生き残りを賭けて

一新規肝動注治療：鉄キレート剤治療 (i-MM 療法) を中心に

山崎 隆弘 (山口大学大学院医学系研究科 消化器病態内科学)

■ 一般演題 「肝動注リザーバー③」 15:45～16:17

座長 田中 利洋 (奈良県立医科大学 放射線科)

11 肝硬変を伴う肝動注症例における分子鎖アミノ酸内服の検討

中尾 直美 (公立八女総合病院 看護部)

12 切除不能多結節性肝細胞癌に対するシステム-Iを用いたミリプラ反復分割 TACE

板野 哲 (いたのクリニック)

13 System-Iを用いた肝動注化学療法の有用性に関する検討

出口 章広 (公立八女総合病院 肝臓内科)

14 System-Iを用いた New-FP 動注化学療法が奏功した TACE 抵抗性肝癌の 1 例

高木 聡 (長岡赤十字病院 放射線科)

■ 一般演題 「肝動注リザーバー④」 16:22 ~ 16:54

座長 小尾俊太郎 (佐々木研究所附属杏雲堂病院 消化器・肝臓内科)

- 15 肝動注リザーバーの血流改変において NBCA-lipiodol で塞栓された動脈の経時的画像変化の検討
徳江 浩之 (群馬大学医学部附属病院 放射線診断核医学)
- 16 副腎転移・門脈腫瘍塞栓を伴う高度進行肝細胞癌に対して動注化学療法を含めた集学的治療を行い良好な経過が得られた 1 例
伊藤 隆徳 (大垣市民病院 消化器内科)
- 17 進行肝細胞癌の治療における肝持続動注化学療法の位置づけ
森 哲 (大分大学 総合内科学第一)
- 18 TACE 不応・不能な進行肝細胞癌に対する治療戦略: リザーバー肝動注とソラフェニブの比較
西尾福 英之 (奈良県立医大 放射線科)

■ 一般演題 「肝動注リザーバー⑤」 16:59 ~ 17:31

座長 新槇 剛 (静岡県立静岡がんセンター 画像診断科)

- 19 肝動注治療後に肝切除術が施行された大腸癌肝転移症例における傍食道遠肝性門脈血流発達についての検討
関 裕史 (新潟県立がんセンター新潟病院 放射線診断科)
- 20 切除不能大腸癌肝転移症例に対する肝動注化学療法の検討
城野 智毅 (公立八女総合病院 消化器内科)
- 21 動注 FOLFOX-B が著効した末期的直腸癌肝転移の 1 例
板野 哲 (いたのクリニック)
- 22 リザーバー肝動注化学療法における肝動脈閉塞とその危険因子の検討
森口 理久 (静岡県立静岡がんセンター IVR 科)